

二〇一九年九月二三日

校庭に響もすマーチ秋高し

うつぎ

城跡に残る急磴花芒

素秀

鉄塔の踏んまへ立ちし稲田かな

明日香

二〇一九年九月二二日

改札に立つゆるキャラの菊人形

せいじ

杉の香の柄杓で掬ふ秋の水

たか子

ジンギスカン駆けし大地や草紅葉

よう子

小鳥来る米寿の妻の誕生日

三刀

切岸に横列なして百合揺るる

素秀

二〇一九年九月二一日

雷光の照らす鉄塔仁王立

そうけい

滝道のこれより先は修験道

なつき

二〇一九年九月二〇日

稲穂波胸まで埋まる案山子かな

たかを

ダイヤ婚来し方話す夜長かな

宏虎

宮相撲おふれ太鼓に泣く赤児

素秀

花嫁へ宮の木漏れ日秋澄めり

なつき

二〇一九年九月九日

六地藏秋夕焼にお顔染め

なつき

二〇一九年九月八日

新涼の空気美味しと深呼吸

はく子

昇龍の横たふごとき秋の雲

ぼんこ

席題の南瓜撫でられ叩かれて

うつぎ

二〇一九年九月七日

単線の鉄路まつすぐ雲の峰

やよい

新涼や三面鏡を磨き上げ

はく子

爽やかや塵一つなき女学院

菜々

毎日句会みのる選・二〇一九年九月一五日